

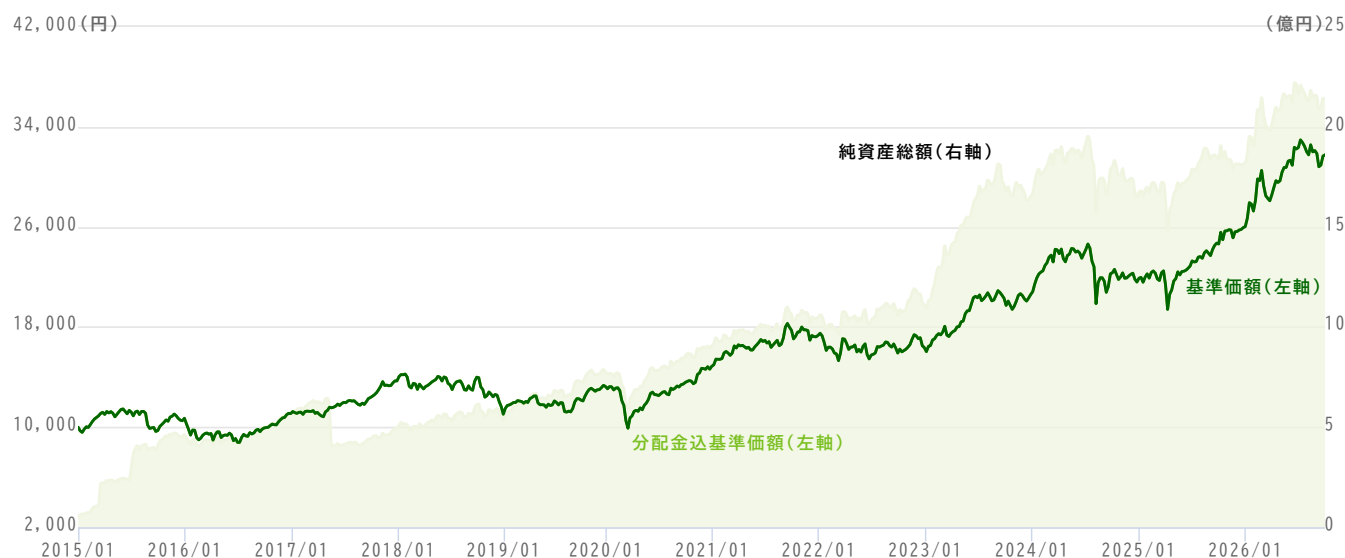
コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2026年9月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により減減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%(消費税込)です。



運用実績

2014年12月29日 ~ 2026年9月30日

基準価額

32,009 円

(前月末比)

△356 円 (△1.10%)

純資産総額

21.5 億円

(前月末比)

△0.2億円 (△0.78%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△1.10%
3ヵ月	△0.59%
6ヵ月	15.49%
1年	29.81%
3年	59.36%
5年	82.21%
10年	226.22%
設定来	220.09%

分配金(1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
2024年12月	0円
2025年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	91.2
しずおかフィナンシャルグループ株式	8.3
現金等・その他	0.6
構成銘柄数	33社



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	19.1%
化学	19.0%
電気機器	18.6%
その他製品	7.2%
卸売業	7.2%
小売業	6.7%
サービス業	5.6%
食料品	3.8%
情報・通信業	2.8%
輸送用機器	2.5%
金属製品	2.1%
繊維製品	2.0%
医薬品	1.8%
その他	1.6%

未来コンセプト別比率

精密テクノロジー	18.3%
新素材	16.9%
ウェルネス	14.4%
ライフサイクル	10.6%
生活ソリューション	10.2%
快適空間	8.1%
資源・エネルギー	7.2%
地球開発	6.2%
社会インフラ	4.0%
未来移動体	2.5%
その他	1.6%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、社会課題を解決する	4.0%
2 アシックス	ライフサイクル	世界の人々の足元を支え、心と身体が健康で居続けられる世界へ	4.0%
3 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	4.0%
4 TDK	精密テクノロジー	「磁性材料」から技術開発力でグローバル社会に貢献	3.9%
5 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	3.8%
6 日東電工	新素材	柔軟変化し、グローバルニッチトップ戦略で持続成長	3.8%
7 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.8%
8 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.8%
9 デクセリアルズ	新素材	時代のニーズを先読みしてテクノロジーの進化を支える	3.7%
10 ファーストリテイリング	ライフサイクル	「ユニクロ」ブランドで世界展開。企業理念は「服を変え 常識を変え 世界を変えていく」	3.7%

※「業種別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

当月のファンドの月間リターンは▲1.10%の下落となりました。

◎運用責任者メッセージ

9月の内外株式市場は、米国の追加利上げに対する警戒感や世界的な長期金利の高止まりを背景に、神経質な展開となりました。米国市場では、良好な企業業績やAI関連への投資意欲が相場を下支えした一方、インフレ高止まりや金利上昇への意識から上値の重たい展開となりました。国内市場でも、金利動向や海外市場のボラティリティ（変動率）の影響を受けやすい中、半導体関連株の動きや配当取りの動きなどに下値を支えられる展開となりました。

業種別では、東証33業種のうち、石油石炭、情報通信、銀行業が騰落率上位となる一方、鉱業、その他製品、水産・農林業が下位となりました。

当マザーファンドは、月間で▲1.15%の下落、投資先32銘柄中10銘柄が値上がり、22銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は▲0.27%の下落、日経平均株価は+0.67%の上昇となりました。

当マザーファンドの株式の組入比率は、98.4%と前月比▲0.7%の低下となりました。個別銘柄の月間騰落率では、東京エレクトロン（+4.67%）、堀場製作所（+4.18%）、デクセリアルズ（+3.48%）が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、任天堂（▲12.16%）、楽天G（▲11.03%）、資生堂（▲6.47%）でした。当月、上場来高値を更新した銘柄はありませんでしたが、年初来高値を更新した銘柄は1銘柄ありました。

さて、当面の内外株式市場は、米国の金融政策やインフレ動向、11月の中間選挙などを睨み、神経質な展開が予想されます。良好な企業業績やAI関連への成長期待が相場を下支えする一方、金利・為替動向や海外市場の変動には引き続き注意が必要です。また、新TOPIX改革を見据えた企業の意識や行動の変化についても注目してまいります。

私たちは引き続き、企業への個別取材と対話を重ね、経営者の考えや事業環境の変化を捉えながら、中長期的な企業価値の成長力を丁寧に見極める運用を継続してまいります。企業との建設的な対話を通じて長期的な価値創造を後押しし、受益者の皆さまの資産形成に貢献できるよう努めてまいります。

NISAの成長投資枠でご購入いただける国内アクティブファンドとして、今後とも当ファンドをどうぞよろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、原嶋亮介、上野武昭、古川輝之、金子敬行、伊藤里沙/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

ありません



今月のピック！

■ (4523) エーザイ

エーザイの2027年3月期第1四半期決算は、前年同期対比で、売上高が+15.6%増、営業利益が同+19.2%増という結果でした。抗がん剤の「レンビマ」、不眠症治療剤の「デエビゴ」、アルツハイマー病治療剤の「レケンビ」の主力3剤がいずれも好調に推移しており、通期計画の達成に対しては順調な滑り出しとなっています。さらに、「レケンビ」の皮下注射製剤が7月に米国で承認されたのを皮切りに、9月に入ってから中国、日本で相次いで承認されたことで、「レケンビ」の普及がより一層加速することを期待しています。

「レケンビ」は従来、静脈内に点滴投与されていたため、患者や家族にとっては通院負担の重さが難点でしたが、皮下注射できるようになったことで在宅での投与が可能になり、治療の始めやすさ・続けやすさが向上する大きな変化になるのではないかと考えていますので、今後の「レケンビ」の投与拡大には大いに注目していききたいところです。

運用部 共同部長 シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介

■ (6301) コマツ

9月10日、証券会社及び投資家向けに開催した栃木エリアの工場見学会に参加しました。同エリアには栃木工場と小山工場が隣接するかたちで拠点を構えています。グループ会社も含めると約4,000名程度が従事する同社の国内拠点としては最大規模です。

小山工場ではキーコンポーネンツ(重要な構成部品)であるエンジン、油機類(モーター、バルブ等)、アクスル(車軸)等、栃木工場では油圧ショベル、ローダー、フォークリフト等の特に小型をメインに手掛けております。ある製造工程ではグループ会社の機械設備を活用し、グローバルに事業を展開し、一定の生産規模を有する同社ならではの垂直統合ビジネスがグループとして機能していることを感じられました。建設機械の市場はグローバルでおおむね活況を呈しており、その重要パーツを製造する同拠点の稼働も上昇傾向が続いていく見込みとのことです。

運用部 シニア・アナリスト 古川 輝之

■ (6501) 日立製作所

日立製作所の2027年3月期第1四半期決算(4-6月)の業績は、売上高2兆7,096億円、前年同期比+20%増、実態の利益を表す調整後営業利益が2,943億円、同+40%増となりました。

通期の業績計画は、売上高で11兆7,000億円、前期比+11%増、調整後営業利益で1兆4,080億円、同+17%増と好調の見込みです。

同社のセグメントは、主にDSS(デジタルシステム&サービス)、エナジー、モビリティ、CI(コネクティブインダストリーズ)の4つとなりますが、特に、収益柱であるエナジーセグメントを中心に力強く伸びています。エナジーセグメントは、M&Aで獲得した欧米のパワーグリッド(送配電ネットワークのプロダクトおよびシステム)事業などが中心となりますが、AIニーズの高まりによる電力需要増大で中長期的にも良好な市場環境が見込まれます。

運用部 シニア・アナリスト 上野 武昭



こどもトラストセミナーでセブン&アイを体験しよう2026

2026年8月9日(日)、コモンズ30ファンドの投資先企業である、セブン&アイ・ホールディングスの伊藤研修センターで、こどもトラストセミナーを開催しました！

2018年から始まり、今回で通算7回目の開催となる夏休み恒例の大人気イベントです。今年も、たくさんのこども投資家の皆さんにご参加いただきました。



当日は、セブン&アイ・ホールディングスについての講義、商品陳列&レジ打ち体験、7NOWの注文体験、セブン・イレブンクイズ、最後に「こども投資委員会」を実施しました。

商品陳列&レジ打ち体験では、ただ商品を並べるのではなく、フェイスアップ～商品の顔を隙間なく手前に見やすく揃えること～、ゴールデンゾーン～お客様目線で手に取りやすい位置～を意識して、お客様が商品を手に取って購入したい！と思えるように、たくさん工夫していることを教わりました。

続いては、店員役とお客様役に分かれて「レジ打ち体験」です。お客様に気持ちよくご利用いただくために、身だしなみ、笑顔、あいさつ、言葉づかいなど、接客のポイントを教えていただきました。



最後の「こども投資委員会」では、どんなセブン・イレブンがあったらいいか、セブン&アイ・ホールディングスをこれからも応援していきたいか、みんなで一緒に考えました。

こどもたちから、わくわくするような意見が出てきます。

- ・お店に食事スペースがほしい
- ・国内外のチーズが食べたい
- ・もっとたくさんのスムージーが飲みたい
- ・海外のセブン・イレブンで売っているようなピザやハンバーガーが食べたい

そして、こどもたちみんなの気持ちがひとつに。
「これからも応援したい！」という声が上がりました。

▼開催レポート詳細はこちらよりお読みください。

https://www.common30.jp/contents/child/event_report/7283/

今後も、こどもトラストセミナーを通じて、「投資は未来をつくる企業を応援すること」を子どもたちと一緒に学んでいければと思います。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

マーケティング部 合月 七海



ちょっといい話

【『ガイアの夜明け』 ご視聴の御礼と、私たちが目指す未来】

先日のテレビ東京系列『ガイアの夜明け』の放送に際しましては、大変多くのお仲間（受益者）の皆様にご視聴いただき、心より御礼申し上げます。

放送中、そして放送直後から、皆さまより「コモンズと一緒に歩いて良かった」「自分たちの投資が社会の未来につながっていると実感できた」といった、本当に温かく胸が熱くなるメッセージを多数頂戴いたしました。その一つひとつの言葉が、私たちにとって大きな励みになりました。

今回の取材を通じて、私たちが大切にしてきた「長期投資を通じて、企業と社会の未来をともに育む」という姿勢を、多くの皆さまにお伝えする機会をいただきました。私たちが日頃どのような想いで投資先企業と対話し、どのような未来を描こうとしているのか、その取り組みの一端を感じ取っていただけたのであれば幸いです。

「次世代に、少しでも明るい未来を残したい。」

皆さまの存在があってこそ、私たちは企業と対話し、未来への投資を続けることができます。もちろん、大切な資産をお預かりしている以上、長期的にしっかりと資産を増やしていくことが私たちの使命です。しかし、私たちが見ているのは、今日の株価だけではありません。その企業は、10年後、20年後、30年後にどのような姿を目指しているのか。経営者はどのような未来を描き、そこで働く人たちはどんな価値を生み出そうとしているのか。そして、その企業の成長が社会をどのように変えていくのか。

私たちは企業と対話を重ねながら、その未来をともに考えています。

時には厳しい問いを投げかけることもあります。それでも、企業の可能性を信じ、より良い会社、より良い社会をつくるために、ともに歩いていく。それが私たちの考える長期投資です。

皆さまから託された資産が企業の未来への挑戦を支え、企業が新たな価値を生み、その価値が社会のより良い未来へとつながっていく。私は、そこに投資の本当の力があると思っています。

コモンズ投信はこれからも企業との対話を重ね、投資先企業の持続的な成長と、その先にあるより良い社会の実現に貢献する長期投資を追求してまいります。

これからもコモンズ投信を、どうぞよろしくお願いいたします。



代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本STO協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○		○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○	○
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○				
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○		○		



投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。当ファンドは値動きのある有価証券に投資するため、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により元本を割り込み、損失を被ることがあります。ファンドの運用から生じる損益は、すべて受益者に帰属します。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。株価は、個別の企業の業績や経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。
流動性リスク	ファンドが有価証券を売却または取得する際、市場に十分な流動性がない場合、市場実勢価格から乖離した価格での取引を余儀なくされ、ファンドの基準価額に悪影響を及ぼす可能性があります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産への投資においては、投資対象国・地域の政治・経済情勢等の変化、対円為替レートの変動等の影響により外貨建資産の価値が変動し、ファンドの基準価額に悪影響を及ぼす可能性があります。特に新興国は、先進国と比較して変動性が高くなる傾向があります。
信用リスク	有価証券の発行者の経営・財務状況の悪化、またはそれらが予想される場合、当該有価証券の価値が下落または消失し、ファンドの基準価額に悪影響を及ぼす可能性があります。



その他の留意点

●当ファンドは、30銘柄程度へ集中投資を行うとともに、株式会社しずおかフィナンシャルグループが発行する株式に純資産総額の10%を上限に高位に組入れを行うことを基本とします。これにより、多くの銘柄に分散投資するファンドと比べ、個別銘柄の価格変動がファンドの基準価額に与える影響が大きくなる傾向があります。

●当ファンドは、実質的な運用をマザーファンドで行うファミリーファンド方式を採用しています。他の投資信託によるマザーファンドへの追加設定・解約等が短期間に集中した場合、マザーファンドに組入れている有価証券の売買により、ファンドの基準価額に悪影響を及ぼす可能性があります。

●大量解約に伴い組入資産を短期間で大量に売却する必要がある場合、当該売却注文が市場価格に影響を与え、ファンドの基準価額に悪影響を及ぼす可能性があります。また、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢価格を反映した取引ができない場合や十分な取引量が確保できない場合は、解約申込の受付中止、受付済の解約申込の取消し、解約代金の支払い遅延といった事象が発生する可能性があります。

●収益分配金は、預貯金の利息と異なり、必ずしも計算期間の運用収益を示すものではありません。分配金は信託財産から支払われるため、純資産総額が減少し、基準価額の下落要因となります。運用収益を超える分配が行われた場合は、その一部または全部が実質的に元本の一部払戻しとなる場合があります。

●当ファンドのお取引は、金融商品取引法第37条の6に定めるクーリング・オフの対象外となります。

●投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険、貯金保険および保険契約者保護の対象ではありません。販売会社が証券会社ではない場合、投資者保護基金の支払い対象となりません。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年率1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年率0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時30分までです。午後3時30分を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル16階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人 資産運用業協会

お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-5860-5706
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>